

一般国道6号

# 津波被害から地域を守った『相馬バイパス』

- ①盛土構造が津波による浸水を食い止めた
- ②塩害被害を受けず田植えを開始

一般国道6号相馬バイパス



震災前の相馬バイパス



3月12日撮影 国土地理院

海岸線

津波浸水エリア

R6 相馬バイパス

津波被害を受けなかったバイパス西側では田植えが始まった。

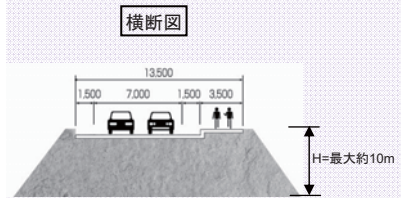
バイパス東側の津波被害の爪痕



5月26日撮影



5月26日撮影



横断面

平成23年3月11日の東日本大震災、相馬市にも津波が押し寄せました。国道6号相馬バイパスは、津波を堰き止め浸水被害の拡大を防いでくれました。

相馬市長 立谷秀清



相馬バイパスは、補修を要する被災があったものの、早期に仮復旧(3月18日)し、災害救助、被災地からの瓦礫搬出等に有効に機能した。



仮復旧し、通行可能となった相馬バイパス